

平成19年第2回景況調査結果について

2007年6月15日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

調査要領

1. 調査時点：2007年5月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：321社(有効回答率 32.1%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(県民センター別)内訳

【産業別】

【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	~29人	30~ 99人	100 人~	合計
対象企業数	86	287	65	267	22	273	1,000	527	219	254	1,000
回答企業数	37	91	22	79	15	77	321	150	78	93	321
構成比(%)	11.5	28.3	6.9	24.6	4.7	24.0	100.0	46.7	24.3	29.0	100.0

【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	152	115	132	90	30	25	1,000
回答企業数	34	75	28	49	36	43	36	13	7	321
構成比(%)	10.6	23.4	8.7	15.3	11.2	13.4	11.2	4.0	2.2	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町)
 四日市県民センター (四日市市・菟野町・朝日町・川越町)
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)
 津県民センター (津市)
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

平成19年5月31日現在

II 概要 (主な調査項目のD I値の推移)

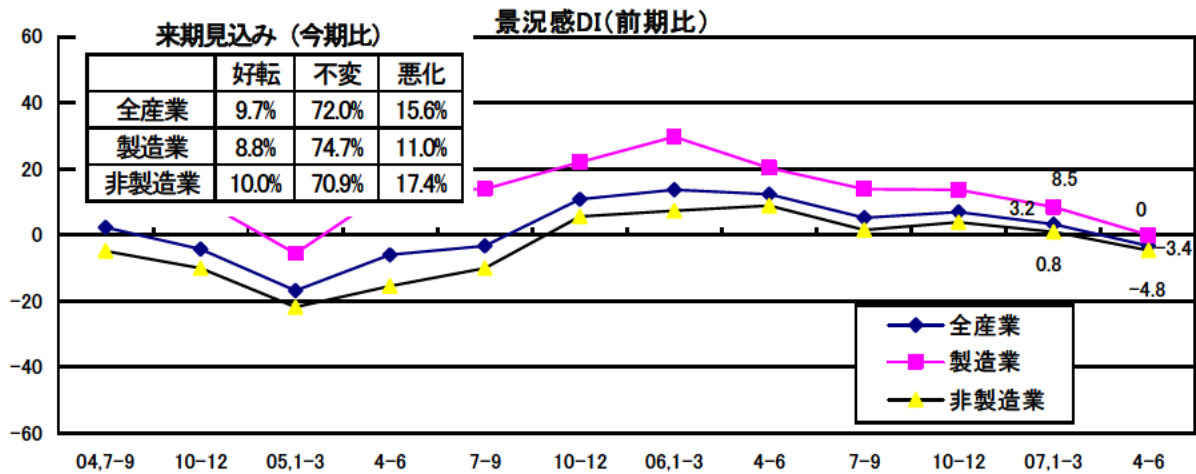
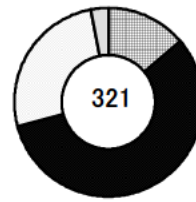
(1) 景況感

今期の県内景気は「良い」14.0%、「ふつう」56.7%、「悪い」26.2%となっております。

景況感D I (前期比) は全産業でマイナス3.4ポイントと前回より6.6ポイント悪化しました。

また、来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っています。

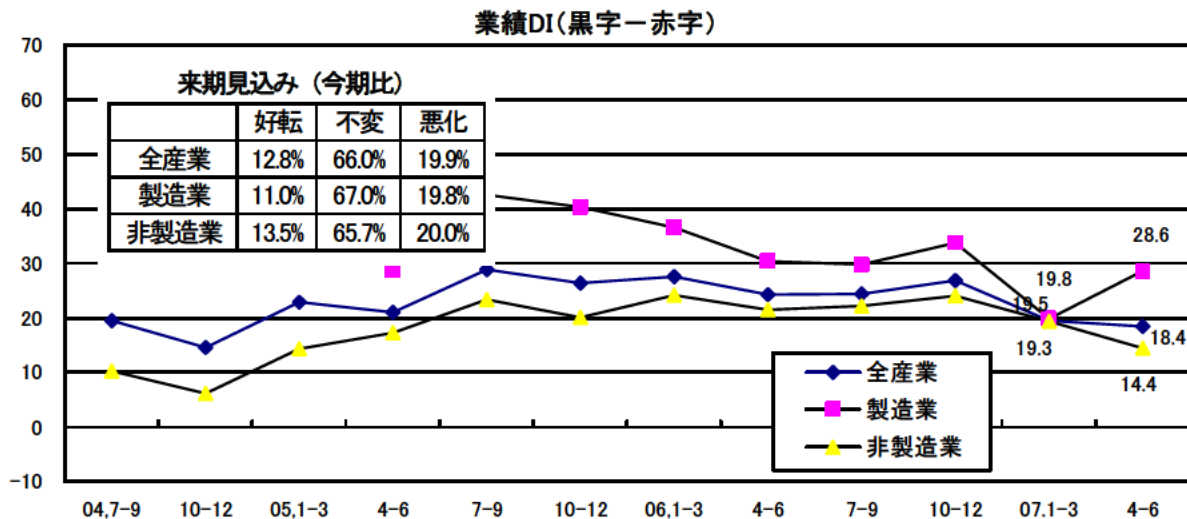
今期の景況感



景況感D I = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

(2) 業績

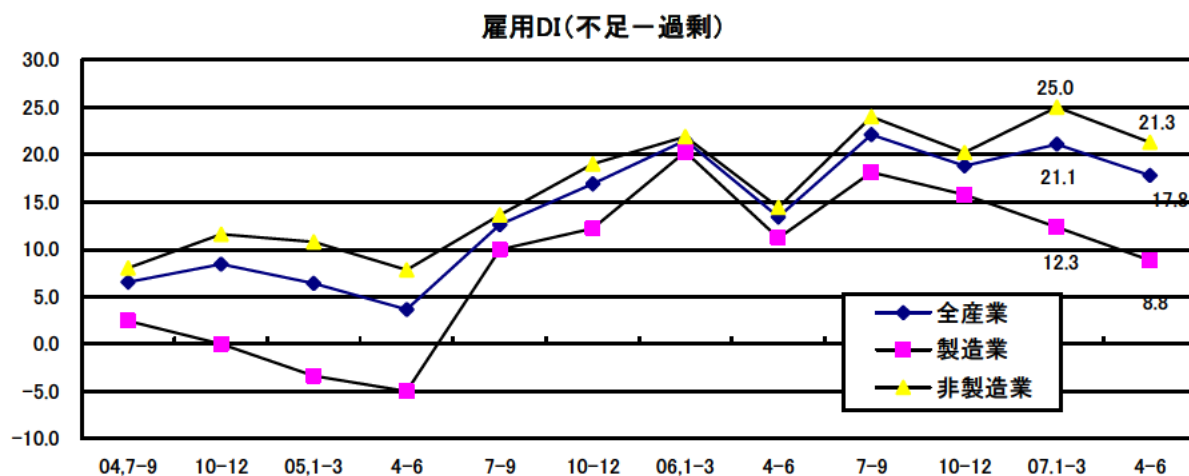
今期の業績D I (利益状況) は全産業でプラス18.4ポイントと前回より1.1ポイント悪化しましたが、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を2003年1-3月の調査から引き続き上回っております。来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を7.1ポイント上回りました。



業績D I = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

(3) 雇用

雇用DIは全産業でプラス17.8ポイントと前回より3.3ポイント悪化しましたが、雇用状態が「不足」とする企業の割合が「過剰」とする企業の割合を12期連続で上回っております。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

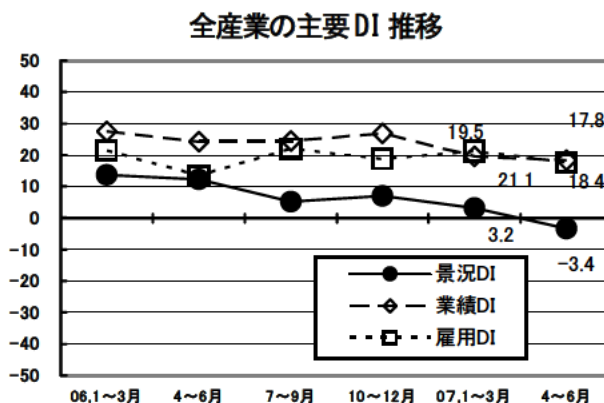
(4) 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは6期連続のプラスから落ち込みマイナスとなりました。業績DIは製造業が前回を上回りましたが全産業では横ばい状態となりました。雇用DIは、依然、全産業で労働力の「不足」感を感じています。夏のボーナスについては、昨年比で減額となる企業が7.5%に対し、20.3%の企業で増額支給の見込みとなりました。

(5) 産業別

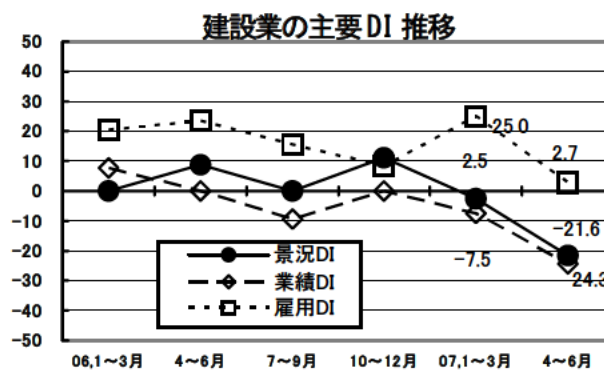
全産業 (回答321社)

景況感は悪化。業績は横ばい状態。
 雇用はわずかに悪化するも不足状態が続く。
 景況感DI (前期比) は、全産業でマイナス3.4ポイントとなり、前回より6.6ポイント悪化しました。
 また、業績DIはプラス18.4ポイントとなり、前回より1.1ポイント悪化しました。
 雇用DIはプラス17.8ポイントとなり、前回より3.3ポイント悪化しました。



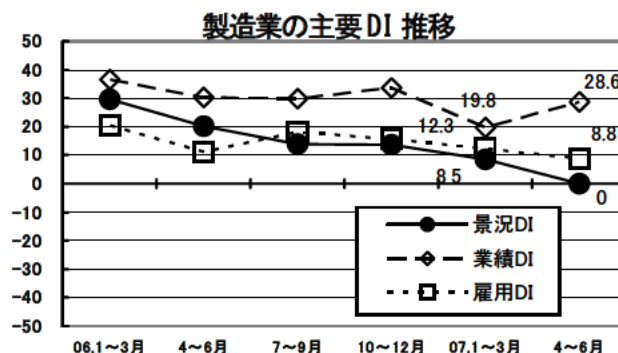
建設業 (回答37社)

景況感、業績は悪化しマイナスが続く。
 雇用は悪化。
 景況感DI (前期比) は、建設業でマイナス21.6ポイントとなり、前回より19.1ポイント悪化しました。また、業績DIもマイナス24.3ポイントとなり、前回より16.8ポイント悪化しました。
 雇用DIはプラス2.7ポイントで、前回より22.3ポイント悪化しました。



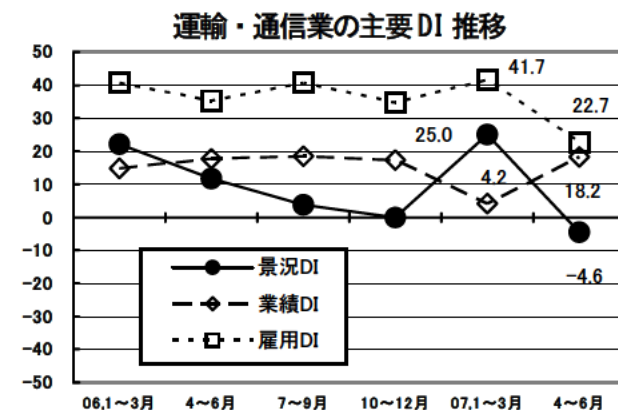
製造業 (回答91社)

景況感は悪化。業績は改善。
 雇用は不足状態が続く。
 景況感DI (前期比) は、製造業で0.0ポイントとなり、前回より8.5ポイント悪化しました。また、業績DIはプラス28.6ポイントとなり、前回より8.8ポイント改善しました。
 雇用DIはプラス8.8ポイントとなり、前回より3.5ポイント悪化しました。



運輸・通信業 (回答22社)

景況感は悪化。業績は改善。
 雇用は悪化するも、不足状態が続く。
 景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でマイナス4.6ポイントとなり、前回より29.6ポイント悪化しました。
 また、業績DIはプラス18.2ポイントとなり、前回より14.0ポイント改善しました。
 雇用DIはプラス22.7ポイントとなり、前回より19.0ポイント悪化しました。



卸・小売業 (回答79社)

景況感は改善しプラス。

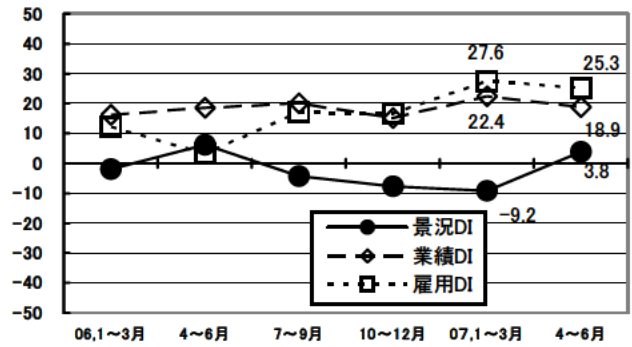
業績、雇用は悪化するもプラスを維持。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でプラス3.8ポイントとなり、前回より13.0ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス18.9ポイントとなり、前回より3.5ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス25.3ポイントとなり、前回より2.3ポイント悪化しました。

卸・小売業の主要DI 推移



金融・保険業 (回答15社)

景況感は悪化。業績は引き続き高水準。

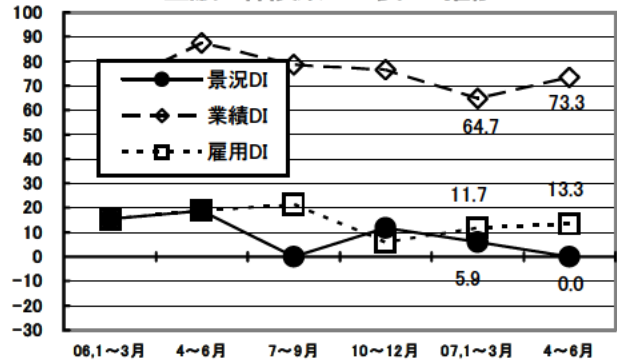
雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業で0.0ポイントとなり、前回より5.9ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス73.3ポイントとなり、前回より8.6ポイント改善しました。

雇用DIはプラス13.3ポイントとなり、1.6ポイント改善しました。

金融・保険業の主要DI 推移



サービス業 (回答77社)

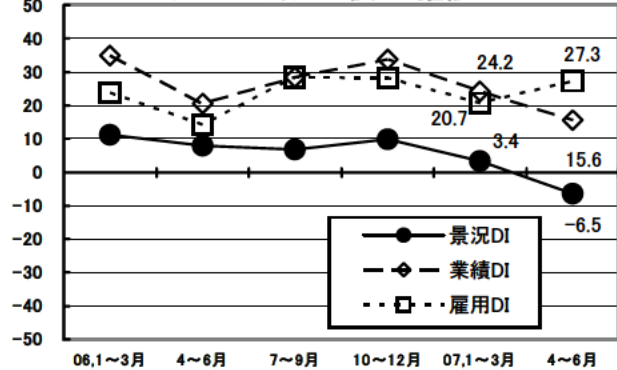
景況は悪化しマイナス。業績は悪化するも引き続きプラスを維持。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、サービス業でマイナス6.5ポイントとなり、前回より9.9ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス15.6ポイントとなり、前回より8.6ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス27.3ポイントとなり、前回より6.6ポイント改善しました。

サービス業の主要DI 推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2007年1~3月 今期=2007年4~6月 来期=2007年7~9月

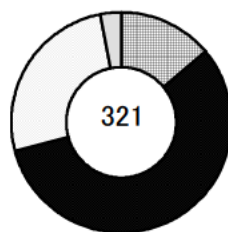
III 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	0.0	5.4	10.7	0.0	0.0	-16.3	-11.1	-30.8	-42.9	-3.4
前期 "	-5.4	9.6	22.9	8.3	8.7	-13.9	-10.0	-16.7	-20.0	3.2
今期業績DI	35.3	26.7	21.4	32.7	5.6	-7.0	16.7	7.7	-14.3	18.4
前期 "	16.2	29.8	20.0	23.3	19.5	13.9	16.7	-16.6	-10.0	19.5
今期雇用DI	23.5	25.4	10.8	14.3	-2.8	32.5	16.7	7.7	0.0	17.8
前期 "	18.9	16.7	34.3	23.3	17.4	36.1	20.0	0.0	0.0	21.1

IV全調査項目の結果詳細

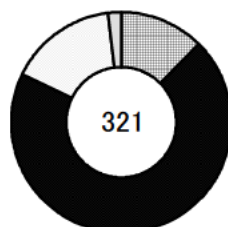
1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」14.0%(45社)、「ふつう」56.7%(182社)、「悪い」26.2%(84社)となっています。



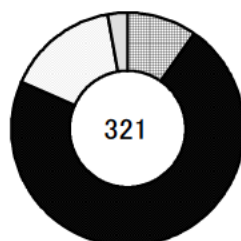
□ 良い	14.0%
■ ふつう	56.7%
□ 悪い	26.2%
□ 無回答	3.1%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」12.5%(40社)、「不変」69.8%(224社)、「悪化」15.9%(51社)となっています。



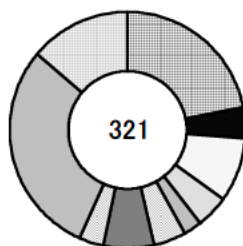
□ 好転	12.5%
■ 不変	69.8%
□ 悪化	15.9%
□ 無回答	1.9%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」9.7%(31社)、「不変」72.0%(231社)、「悪化」15.6%(50社)となっています。



□ 好転	9.7%
■ 不変	72.0%
□ 悪化	15.6%
□ 無回答	2.8%

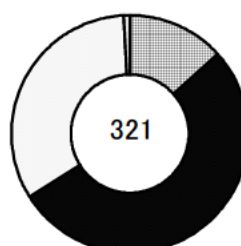
(4) 国内景気の回復時期については、「2008年4月以降」が29.3%(94社)でもっとも多く、次いで「2006年6月以前」が21.8%(70社)、「2006年10～12月」が8.7%(28社)の順となっています。



□ 2006年6月以前	21.8%
■ 2006年7～9月	4.4%
□ 2006年10～12月	8.7%
□ 2007年1～3月	4.7%
□ 2007年4～6月	2.5%
□ 2007年7～9月	4.4%
■ 2007年10～12月	6.9%
□ 2008年1～3月	3.4%
□ 2008年4月以降	29.3%
□ 無回答	14.0%

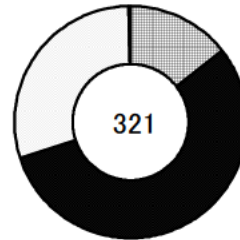
2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」13.4%(43社)、「ふつう」52.6%(169社)、「悪い」33.0%(106社)となっています。



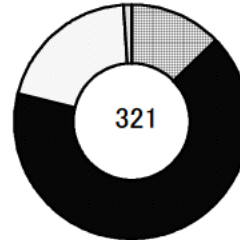
□ 良い	13.4%
■ ふつう	52.6%
□ 悪い	33.0%
□ 無回答	0.9%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」14.3% (46社)、「不変」55.8% (179社)、「悪化」29.6% (95社) となっています。



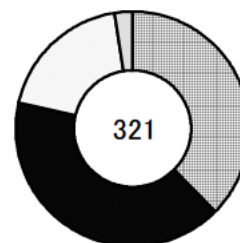
□好転	14.3%
■不変	55.8%
□悪化	29.6%
□無回答	0.3%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」12.8% (41社)、「不変」66.0% (212社)、「悪化」19.9% (64社) となっています。



□好転	12.8%
■不変	66.0%
□悪化	19.9%
□無回答	1.2%

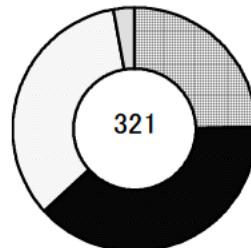
(4) 今期の利益状況については、「黒字」37.4% (120社)、「収支均衡」41.1% (132社)、「赤字」19.0% (61社) となっています。



□黒字	37.4%
■収支均衡	41.1%
□赤字	19.0%
□無回答	2.5%

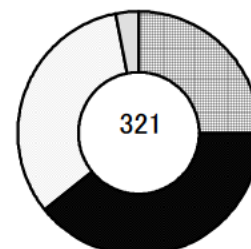
3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」24.6% (79社)、「不変」38.6% (124社)、「減少」34.0% (109社) となっています。



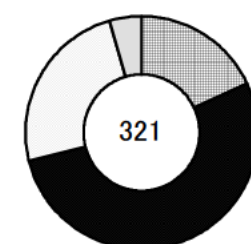
□増加	24.6%
■不変	38.6%
□減少	34.0%
□無回答	2.8%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」24.9% (80社)、「不変」39.3% (126社)、「減少」32.7% (105社) となっています。



□増加	24.9%
■不変	39.3%
□減少	32.7%
□無回答	3.1%

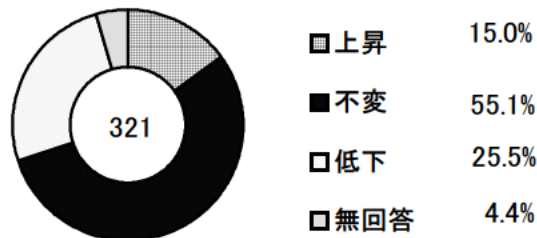
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」18.1% (58社)、「不変」53.0% (170社)、「減少」24.6% (79社) となっています。



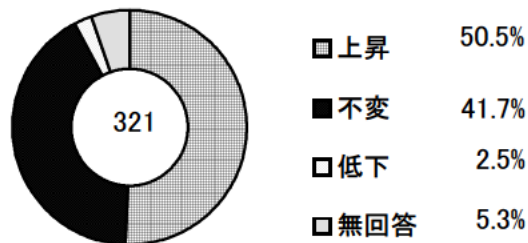
□増加	18.1%
■不変	53.0%
□減少	24.6%
□無回答	4.4%

4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」15.0% (48社)、「不変」55.1% (177社)、「低下」25.5% (82社) となっています。



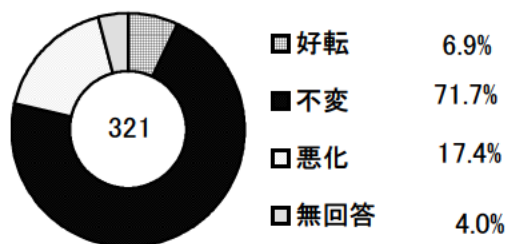
(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」50.5% (162社)、「不変」41.7% (134社)、「低下」2.5% (8社) となっています。



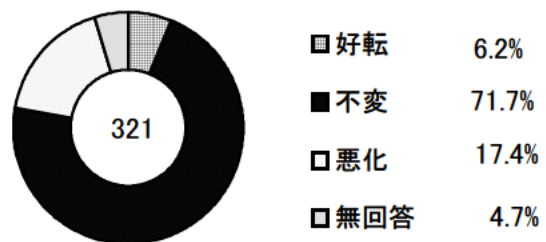
5. 資金繰り

(1)・(2) 資金繰りについては、今期が71.7%、来期も71.7%の企業が「不変」としており、今期は「好転」が6.9% (22社)、「悪化」が17.4% (56社)、来期は「好転」が6.2% (20社)、「悪化」が17.4% (56社) と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

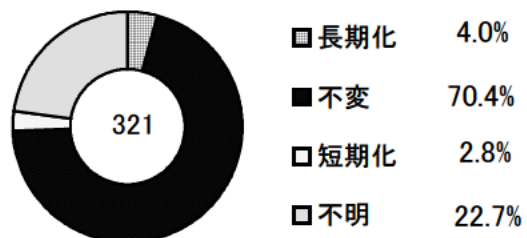
今期資金繰り (前期比)



来期資金繰り (今期比)

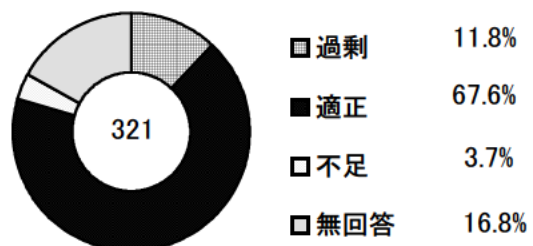


(3) 受取手形の期間は、「長期化」4.0% (13社)、「不変」70.4% (226社)、「短期化」2.8% (9社) となっています。



6. 製品 (商品)・原材料在庫

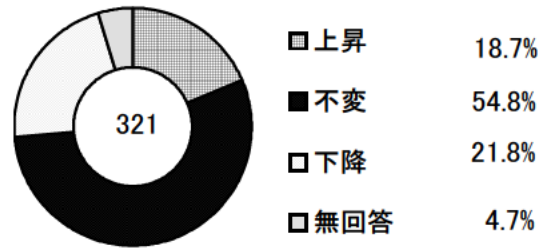
現在の製品在庫状況については、「過剰」11.8% (38社)、「適正」67.6% (217社)、「不足」3.7% (12社) となっています。



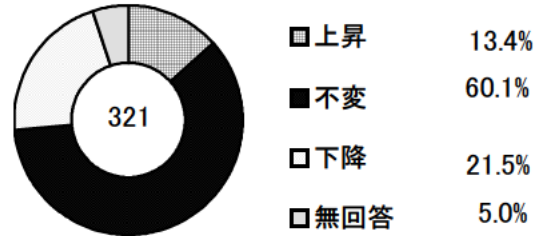
7. 設備投資意欲

〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」18.7% (60社)、「不変」54.8% (176社)、「下降」21.8% (70社) となっています。

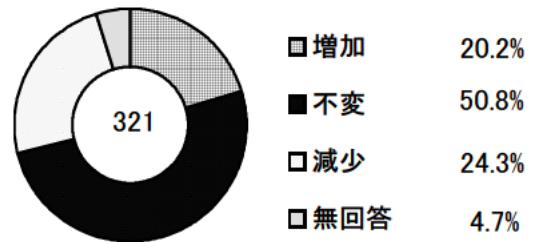


(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」13.4% (43社)、「不変」60.1% (193社)、「下降」21.5% (69社) となっています。

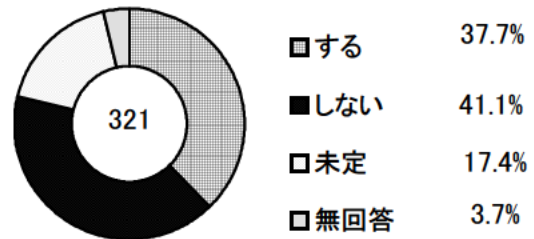


〔設備投資状況〕

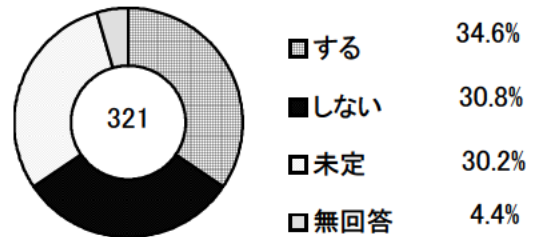
(3) 平成18年度上半期(2006年4月～2006年9月)と比べた平成19年度上半期(2007年4月～2007年9月)の設備投資計画額は、「増加」20.2% (65社)、「不変」50.8% (163社)、「減少」24.3% (78社) となっています。



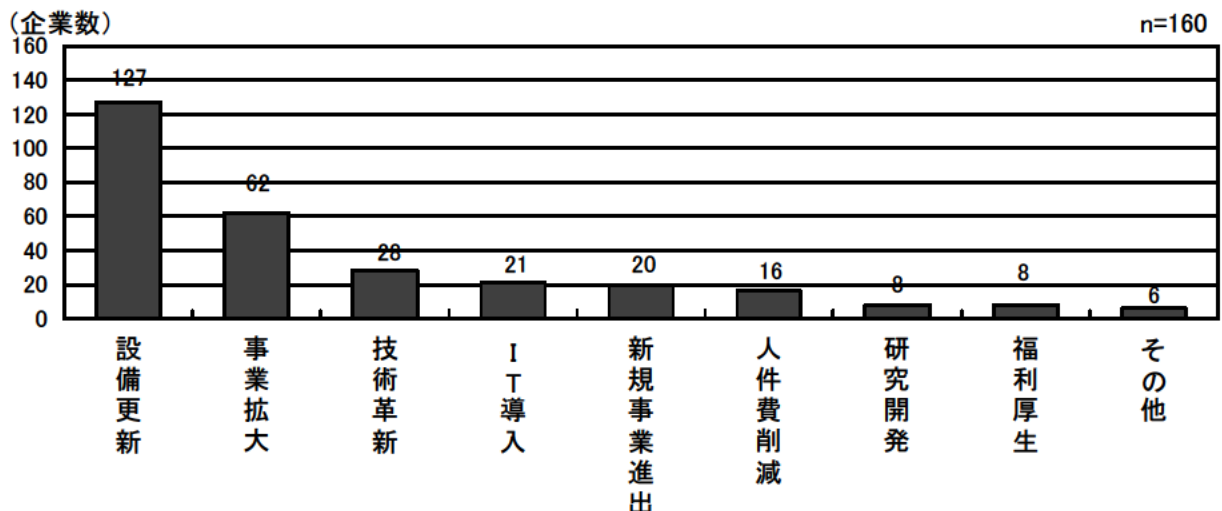
(4) 今期の設備投資予定は、「する」37.7% (121社)、「しない」41.1% (132社)、「未定」17.4% (56社) となっています。



(5) 来期の設備投資予定は、「する」34.6% (111社)、「しない」30.8% (99社)、「未定」30.2% (97社) となっています。

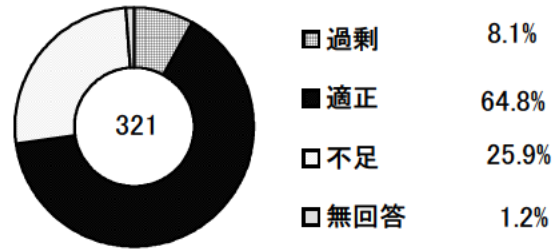


(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」79.4% (127社)「事業拡大」38.8% (62社)、「技術革新」17.5% (28社)の順となっています。(複数回答可)

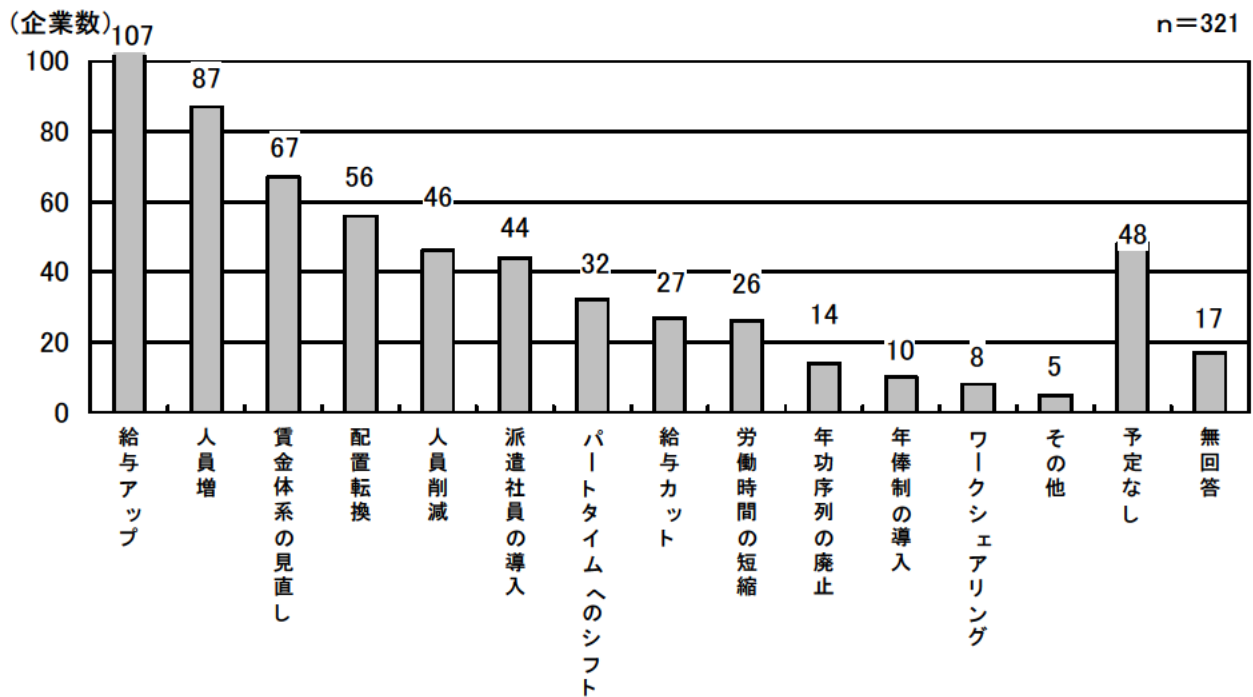


8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」8.1% (26社)、「適正」64.8% (208社)、「不足」25.9% (83社) となっています。

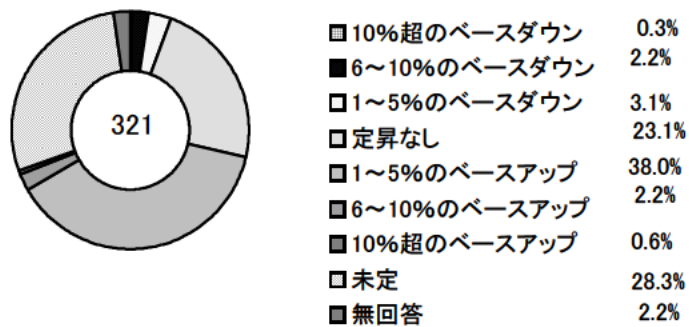


(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「給与アップ」33.3% (107社)、「人員増」27.1% (87社)、「賃金体系の見直し」20.9% (67社)、「配置転換」が17.4% (56社) の順となっています。(複数回答可)



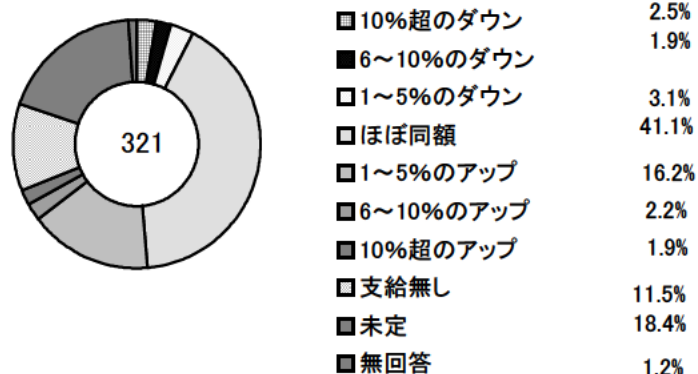
9. ベースアップまたはダウン見込み

ベースアップまたはベースダウンの見込みについては、「1~5%程度のベースアップ」38.0% (122社)、「定昇なし」23.1% (74社)、「1~5%程度のベースダウン」3.1% (10社) の順となっています。



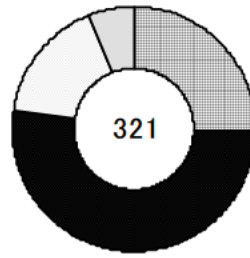
10. 夏のボーナス

夏のボーナスの支給見込みについては、前年と「ほぼ同額」41.1% (132社)、「1~5%のアップ」16.2% (52社)、「支給なし」11.5% (37社) の順となっています。

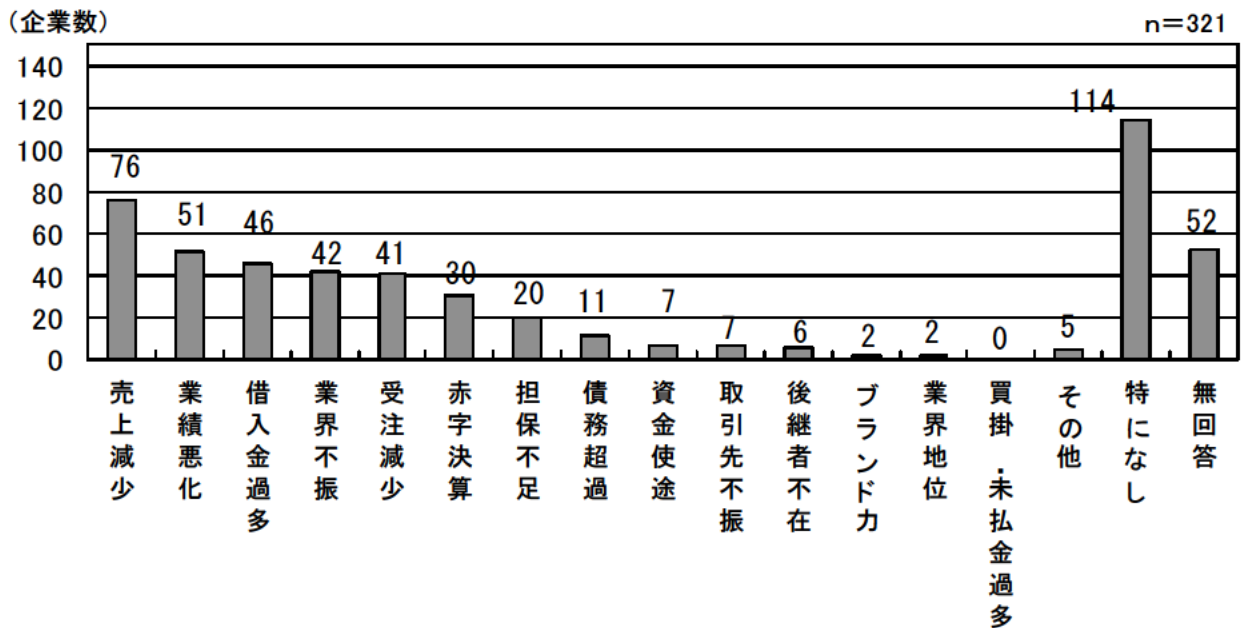


1.1. 資金調達

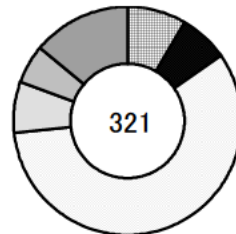
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」25.2% (81社)、「ない」52.3% (168社) となっています。



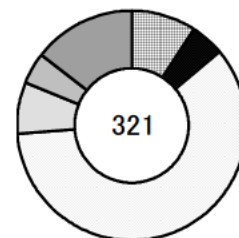
(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」23.7% (76社)、「業績悪化」15.9% (51社)、「借入金過多」14.3% (46社) の順となっています。(複数回答可)



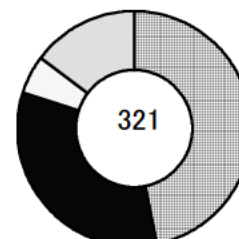
(3) 前期と比べた今期の長期資金借り入れ難度は、「容易」8.4% (27社)、「やや容易」6.9% (22社)、「不変」57.9% (186社)、「やや困難」7.5% (24社)、「困難」5.3% (17社) となっています。



(4) 前期と比べた今期の短期資金借り入れ難度は、「容易」9.0% (29社)、「やや容易」5.0% (16社)、「不変」59.8% (192社)、「やや困難」7.2% (23社)、「困難」4.7% (15社) となっています。

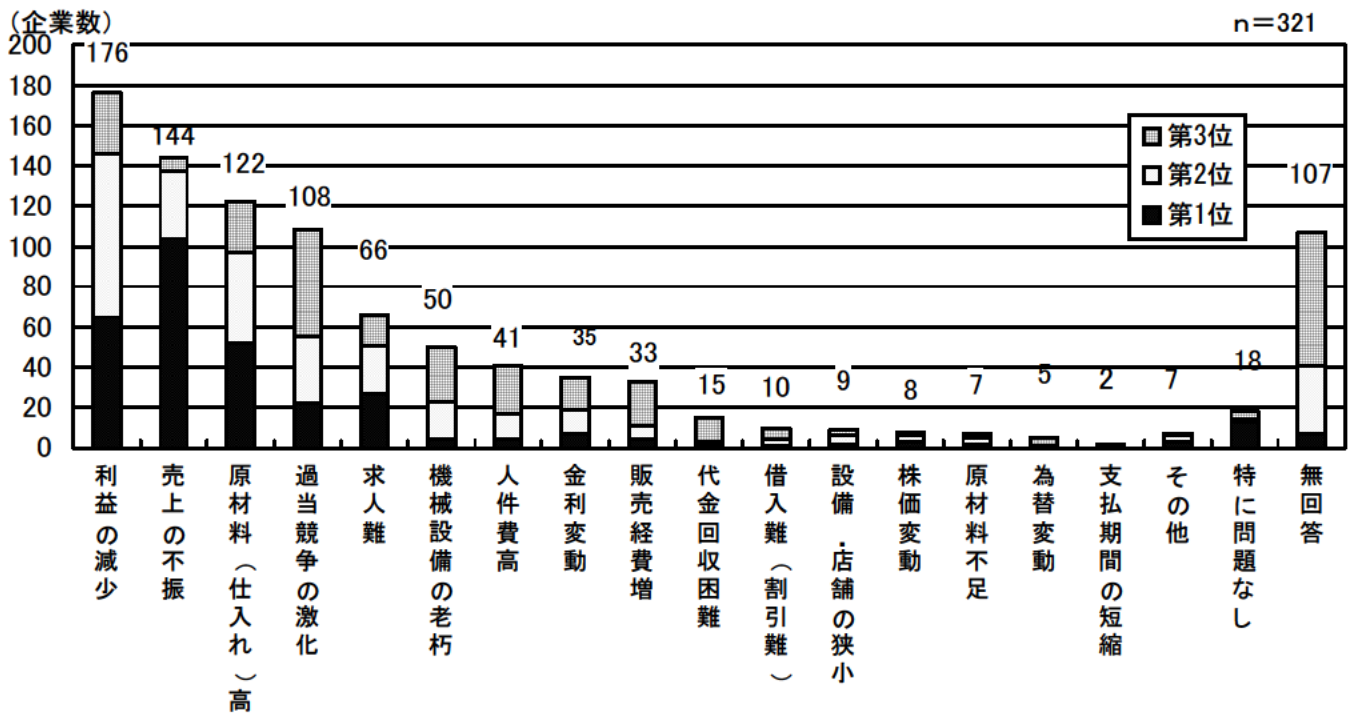


(5) 前期と比べた今期の借り入れ金利は、「上昇」47.0% (151社)、「不変」33.0% (106社)、「低下」5.3% (17社) となっています。



1.2. 経営上の問題

- (1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」54.7% (176社)、「売上の不振」44.9% (144社) 「原材料(仕入れ)高」38.0% (122社)の順となっています。(上位3項目選択)



- (2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」55.5% (178社)、「助成制度」34.0% (109社)、「公共事業の増加」27.7% (89社)の順となっています。(複数回答可)

